

## 「学校における業務改善」

# 「鹿児島市立星峯東小学校」の実践紹介

### 効果が期待される取組

- 毎週水曜日の教材研究の時間確保と定時退校日の徹底
- 専科指導の実施や支援員等の活用による指導体制の充実
- 校務共有システム「See-Smile」と校務支援システム「スズキ校務」の活用

### 実施前の課題

- ・ 教材研究・授業準備の時間等が十分とれない。
- ・ 個人によって、勤務時間内の業務遂行に対する意識の差がある。



### 実施後の成果

- ・ 水曜日の朝活動と清掃をカットしたことにより、放課後の教材研究や担当校務処理の時間が生まれた。
- ・ 本校の1Action「定時退校日の徹底」の設定により、一人一人が定時退校を意識して業務を進めるようになった。

## 業務改善を目指した取組の詳細

- 1 校時表の改善
  - ・ 毎週水曜日の朝活動と清掃活動をカットし、放課後に15時35分から70分間の教材研究の時間を確保した。原則、放課後の会議等は組まない。
  - ・ 水曜日を定時退校日に定めるとともに、校区コミュニティの会議等も調整し、週の中でメリハリをつけた勤務が出来る日として位置づけている。
- 2 専科等による学習指導の充実
  - ・ 理科（4～6年）、音楽（2～6年）[非常勤講師]、算数専科（5・6年）[加配]
  - ・ 児童支援加配や特別支援教育支援員による学習支援
- 3 ICT機器の活用
  - ・ 校務共有システム「See-Smile」の活用による職員間の連絡体制の確立（職員朝会は週1回。今後は更に See-Smile 中心の連絡体制を推進する。）
  - ・ 校務支援システム「スズキ校務」の活用による出席状況・指導要録・健康診断票等の入力や児童に関する情報の共有
- 4 その他
  - コミュニティ協議会の各専門部に学校職員が配置され夜間の会議等に参加していたが、現在は必要最低限の配置のみとし、職員の夜間の会議出席回数を減らしている。
  - 学校支援ボランティアを積極的に活用し、学習指導（書写やミシン指導等）、安全見守り活動（登下校時や校外学習活動時等）、絵本の読み聞かせ等により、職員の教育活動を支援していただいている。
  - 業務改善に関する職員研修を実施し、本校の1Action、各自の1Tryを設定している。

### 今後の課題、計画

- 校務共有システムの一層の活用による会議等の精選と確実な連絡体制の確立
- 一人一人の計画的・効率的な業務遂行のための能力向上